

◆参加団体の紹介◆

■独立行政法人 国際協力機構 JICA

国際協力機構(JICA)は、国際社会・開発途上国の平和と安定、繁栄が日本及び世界の発展につながるという日本国政府の方針のもと、政府開発援助(ODA)の実施機関として、途上国支援、地球規模の課題解決、国際間の連携を担う独立行政法人です。市民の皆様への途上国支援への窓口として、青年海外協力隊等ボランティア派遣、学校等での途上国理解の教育活動の促進、NGO、自治体などと連携した共同事業も実施しています。
所在地:東京都千代田区二番町5-25二番町センタービル
TEL:(03)5226-6660から6663(代表) URL:<http://www.jica.go.jp/>

■港ユネスコ協会

1981年に設立された、東京都港区内に拠点を置いてユネスコ活動を行っているボランティア団体です。国連の専門機関UNESCO憲章にうたわれた「教育、科学、文化の諸活動とおして平和を築こう」という精神に基づいて、シンポジウム、講演会、世界の味文化紹介、文化紹介、ユース・フォーラム、英会話教室、大使館訪問などの活動をしています。
連絡先:東京都港区新橋3-16-3 港区立生涯学習センター 3F
TEL:03-3434-2233(FAXも同じ) URL:<http://minato-unesco.jp>

■認定NPO法人東京都日中友好協会

日中友好を願う人々による「草の根の市民交流」を目的に1950年に設立されたボランティア組織です。中国旅行、訪日団の受け入れ、中国語スクーリング、交流会、講座など各種イベントを実施しています。東京都内に居住・通勤・通学し、日中友好を願う個人及び団体であればどなたでも加入できます。また、東京都の友好都市である北京市を中心として、中国各地の人々との市民交流を深める活動に積極的に取り組んでいます。
所在地:東京都千代田区神田錦町1-4 日中友好会館5階
TEL:03-3295-8241 FAX:03-3295-8255
E-mail:to-nicchu@jcfca-tyo.net URL:<http://www.jcfca-tyo.net/>

■公益財団法人 日印協会 THE JAPAN-INDIA ASSOCIATION

日印協会は1903(明治36)年に大隈重信侯爵、長岡護美子爵、渋沢栄一翁によって組織され、日印両国民の親善を図る傍ら、インド事情の調査・日本文化と経済事情の紹介等を行った。3人の創設者は、第1代から第3代の日印協会の会長を務めた。機関誌「月刊インド」を年10回発行し会員へ送付し、Web季刊誌「現代インド・フォーラム」を年4回当協会HPに発表・公開している。
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 2-1-14 スズコービル 2階
電話:03-5640-7604 Fax:03-5640-1576
Eメール:partner@japan-india.com URL: <http://www.japan-india.com/>

■公益社団法人ベトナム協会 The Japan-Vietnam Association

当協会は、日本・ベトナム両国間の経済技術等の協力、貿易増進、文化交流等によって親善の強化を図ると共に、両国の発展と繁栄に寄与することを目的に設立されました。昭和40年10月15日外務省許可により社団法人として設立。代表者 会長 植田松登(三井物産(株)取締役会長)法学会員、個人会員により組織されている。(事業:1.民生安定に寄与する社会的、経済的、技術的な開発に対する支援。2.学生、研修者等の交換派遣ならびに文化・宗教の交流。3.ベトナムの社会・文化・宗教・政治・経済等の事情についての研究調査とその広報。4.相互間の経済提携の強化と貿易増進。5.その他、本協会の目的達成のために必要な事業。)
所在地:東京都港区六本木6-2-33 六本木ヒルズ ノースタワーアネックスビル3F
TEL:03-3403-3449 Mail:Ogawa1305@yahoo.co.jp

■東京グローバル・ロータリークラブ

2014年設立の新しいロータリークラブです。1905年のアメリカ・シカゴでの最初のクラブ発足以来、ロータリーは地域社会や国際社会への奉仕活動を大きな柱としてきました。私たちのクラブもミャンマーへの教育関連の支援を始めています。ロータリー平和フェロシシップ(紛争解決などの専門家養成プログラム)で来日する留学生のお世話もしています。
事務局 連絡先:tglobar.rc@gmail.com TEL:080-6720-4136
URL:<https://www.facebook.com/東京グローバルロータリークラブ-147878639385/>

■江戸川インド人会 Indian Community of Edogawa (ICE)

会長のジャグモハン スワミダス チャンドラニ さんはインドの紅茶や食品の輸入ビジネス、インドレストラン経営等を手がける傍ら、「江戸川インド人会」会長として在日インド人への支援や日本人とインド人との草の根交流の促進に努める。2000年代以降、IT技術者を中心にインド人が多く居住しており、「日本におけるインド」という観点からメディアで取り上げられることも多いようである。2010年(平成22年)の江戸川の外国人登録者は日本全体で約2万2000人おり、そのうち約1割の2336人が江戸川区内に在住している。

■合気道錬身会

合気道錬身会は、日本の伝統文化である素晴らしい合気道を通じ、礼儀作法を身につけ心身に健全な青少年の育成に努め、また、教育現場や企業研修、講習会、講演などを通じて、老若男女に広く愛し親しまれる武道の発展を目指している。
住所:東京都中央区日本橋本町4-6-10 サトービルB1
電話:03-5204-2101 FAX:03-5204-2102

■日加協会 THE CANADA-JAPAN SOCIETY

日加協会は1929年の日本とカナダの国交樹立をうけて1930年に創立され、両国民の友好親善のための交流を進めて参りました。1983年には故高円宮殿下を名誉総裁にお迎えし、高円宮妃久子殿下が御継承くださり今日に至っています。歴代の駐日カナダ大使を名誉会長にお迎えし、現在はアン・パーニーニ大使が任に就かれており、法眼健作会長の下、友好親善の増進のため文化体験など幅広い活動を行っています。日加の友好を願う、団体、個人であれば、どなたでも入会できます。
日加協会事務局:東京都新宿区矢来町82 ウィルズウェイKAGURAZAKA 2F
TEL:03-5206-8695 FAX:03-5206-8696
E-mail:admin@nikkakyokai.org URL:<http://www.nikkakyokai.org/>

■居合い 財団法人無外流所属 吹毛会

吹毛会(すいもうかい)は一般財団法人無外流に所属しており、無外流 居合・剣術を教授、稽古しています。日本橋の本部道場をはじめとして、東京都を中心に多数の道場があり、武道を追求したい人、健康維持、生涯学習を目的として新しく趣味を持ちたい人など老若男女が稽古に励んでいます。武道を通して健全な心身の育成と会員相互間の親睦を大切にしています。
所在地:〒103-0023東京都中央区日本橋本町1-3-2 本町ビル5F

■東洋英和女学院 国際教育委員会

東洋英和女学院は、1884年にカナダのメソジスト教会の支援によって建てられました。その精神を受け継いだ生徒たちは、自発的にバングラデシュへの支援を開始。現在は国際教育委員会として、東洋英和ミャンマー活動「TEAM」、ASPEN式読書会「TERA」、「Skype会議」によるグローバル教育を行なっています。「TEAM」とは、中学部・高等部生が、国際社会に対する理解を深め、より実践的な関わりができるよう、政治的、経済的に大きな変革を遂げつつあるミャンマーについて研究し、国際支援および国際協力のあり方について、高大連携で検討するプログラムです。
連絡先:〒106-0032港区六本木5-14-40
URL:http://www.toyoeiwa.ac.jp/chu-ko/kokusai/global_education/index.html

■Barefoot Doctors Group

Barefoot Doctors Group は、国内外の人々の健康と生活水準の向上と、平和構築を目的とした、ソーシャルビジネスを行う団体です。長く内戦が続いていたミャンマーの少数民族地域で、農業・森林関係事業による地元組織のキャパシティビルディングを行っています。民主化と停戦合意が進んだ今でも、国境地域では開発が遅れ麻薬や宗教に関わる衝突、紛争が続いています。それらの地域で、インフルエンザの治療薬タミフルの原料となる香料の八角を栽培し、新たな雇用創出と経済的自立を促し平和を構築する事業を進めています。八角の一株株主も募集しています。
連絡先:〒248-0014鎌倉市由比が浜1-9-18 TEL/FAX:0467-24-3029
URL:<http://barefoot-doctors.org>

■ハクビ京都市の学院 銀座校

ハクビ京都市の学院は1969年に創立し、日本で最も伝統ある着付教室として技術を長年積み重ねてきました。その確かな技術で初心者から経験者まで安心して学ぶことが出来る教室です。住所104-0061東京都中央区銀座2-11-8 第22中央ビル5F
電話:03-6859-0891 FAX:03-6859-0892 URL:<http://www.hakubi.net/>

■一般社団法人 日本語交流連盟

日本語交流連盟(英語名:English-Speaking Union of Japan 略称ESUJ)は、日本人のたちが国際コミュニケーションの「道具」としての英語に慣れ親しむようになることを目的として1998年10月に設立された非政治、非営利のボランティア団体です。ESUJは独立した日本の一般社団法人ですが、1918年に英国で創設されたESU(English Speaking Union)と密接な関係を保ち、世界の50カ国に存在するESUからなる国際評議会注のメンバーとしてESUのブランドの維持、普及に努めております。
事務所:〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-5 富士陰ビル9階
電話:03-3423-0970 FAX:03-3423-0971 E-Mail:esuj@esuj.jp

■一般財団法人 港区国際交流協会

外国人と日本人との相互理解を深め、多文化共生社会の実現に貢献することを目的として設立された団体です。様々な交流事業、日本語講座を始めとする語学講座、通訳の派遣、外国人相談などを行い、外国人と日本人との交流を支援しています。
所在地:東京都港区北青山1-6-3 都営北青山一丁目アパート3号棟 地下1階
TEL:03-6440-0233 URL:<http://www.minato-intl-assn.jp/>

■石川薫

元外交官、現在は人道支援、開発、貿易交渉、サミットなどについて大学院と大学で教鞭をとっています。1972年東大法学部卒、同年外務省入省、G8サミット・サブセルバ、国際社会協力部長(ユニセフ、WFP、行財政などの国連関係)、経済局長(貿易摩擦、EPA交渉などの経済問題)、在エジプト大使、アラブ連盟代表大使(初代)、在カナダ大使など歴任。その間の教歴、研究歴として、英国国際戦略研究所リサーチフェロー、日本国際問題研究所所長代行、東京大学客員教授、早稲田大学非常勤講師。現在は(学法)川村学園理事・同女子大学特任教授、国際教養大学客員教授。このほか他大学の大学院、学部で非常勤講師。

■高橋直子

工学院大学孔子学院学院長。沼津市出身。静岡大学在学中からNHK静岡などでおしゃべりの仕事を始め、大学卒業後、群馬テレビ局アナを経てフリーアナウンサーに。FM東京、NHK、テレビ朝日等で番組担当の他、東京アナウンス学院、日活芸術学院、オスカープローション等で後進の指導にあたる。アナウンス指導の他、大学やカルチャーセンターなどで自己表現、中国語、中国事情などの講師を担当。キャリアアプラン等の講演も多い。93~95年、2011~17年は中国国際放送局(北京放送)に外国人専門家として勤務。担当番組は数多くの賞を受ける。また、北京大学MTIでも教鞭をとり、学生は日本語討論大会優勝の常連に。2017年4月から現職。新しい日中交流を模索中。

■香川真

流通経済大学名誉教授。1946年生まれ。1971年早稲田大学文学部心理学科卒業。立教大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了。同大学院社会学研究科応用社会学専攻博士課程単位取得満期退学。1975年立教大学社会学部助手、1978年大阪産業大学経営学部講師。助教授、教授を経て、1992年流通経済大学社会学部教授。2017年3月退職。44年にわたり教育、研究活動を通じて、多くの人材を輩出。2000~2010年に日本国際観光学会会長。編著書に、「現代観光研究」(嵯峨野書院)、「観光学大事典」(木楽舎)など。最近は、「観光交流を通しての世界平和」に関心領域の中心に置く。

■春名幹男 国際ジャーナリスト

1946年京都市生まれ。1969年大阪外国語大学(現・大阪大学)ドイツ語学科を卒業して共同通信社に入社。ニューヨーク支局、ワシントン支局をへて、ワシントン支局長。在米報道は計12年。論説副委員長、特別編集委員などをへて2007年3月退社。2007~12年名古屋大学大学院教授。同特任教授。2010~17年早稲田大学政治学研究所客員教授。1980~84国連特派員協会(UNCA)執行委員、書記、第2副会長。09年11月~10年3月外務省参与(「密約」問題に関する有識者委員会)委員。1994年度ポーン・上田記念国際記者賞。2004年日本記者クラブ賞受賞。著書:「核地政学入門」(日刊工業新聞社)、「ヒバクシャ・イン・USA」(岩波新書)、「スクリー音が消えた」(新潮社)、「秘密のファイル-CIAの対日工作」上下(共同通信社、新潮文庫)、「米中冷戦と日本」(PHP)、「仮面の日米同盟」(文春新書)。

みなと国際交流・協力の日実行委員会とは

本実行委員会は、2011年9月に市民の発意により設立され、主に港区内で活動する国際交流・協力関連団体、グループが協働し、イベントの開催等、各団体の活動紹介、団体間の交流、情報交換、ネットワークづくりの場を提供しています。これまで4回にわたる外国人によるプレゼンテーション、日本人を交えてのディスカッションを行う「Let's Talk about Your Life in Japan」、国際交流を行う団体の認知活動ならびに交流の場「みなと国際交流・協力の日」を開催してきました。